

制定日 2016年4月 1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

インジウム

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	In
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類対象外
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない(粉塵)
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない(ミスト)
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(肺、骨格、消化管)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	環境に対する有害性	水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性		分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ(経口) 長期又は反復暴露による肺、骨格、消化管の障害。

GHS分類	項目	In
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p>【安全対策】 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>【応急処置】 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報:	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	・インジウム(Indium)
化学式または構造式	In
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7440-74-6
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
吸入した場合	直ちに被災者を、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。速やかに医師の診察を受ける。
予想される急性症状 及び遅発性症状	吸入した場合、咳、息切れ、咽喉痛。 目に入った場合、発赤、痛み。 飲み込んだ場合、吐き気、嘔吐。
最も重要な兆候及び 症状	—
医師に対する特別注 意事項	医学的経過観察が不可欠。

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、砂、土、一般の泡消火剤 大火災: 散水、噴霧水、通常の泡消火材
火災時の特定危険 有害性	摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 フレアー燃焼効果により速やかに燃焼する恐れがある。 爆発したり、爆発的な激しさで燃焼する恐れがある。 消火後再び発火するおそれがある。 火災によって刺激性、又は毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災地区から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護処置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和:	少量の場合:漏洩物は清潔な帯電防止工具を用いて集め、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるく覆いをし、後で、廃棄処理する。 大量の場合:水で湿らせ、防護囲いをし、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策: 局所排気・全体換気: 安全取扱い注意事項: 接触回避:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 接触、吸入又は飲み込んではいない。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管 技術的対策: 保管条件: 混触危険物質: 容器包装材料:	保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所には、危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から話して保管すること。－禁煙。 酸化剤から離して保管すること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。	
許容濃度	日本産業衛生学会(2005年):設定されていない ACGIH(2005年):TLV-TWA 0.1mg/m ³	
設備対策	製造業者が指定する防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために廃棄用の換気を行うこと。	
保護具	呼吸用保護具:	吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡:	適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋:	皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣:	皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	様々な形状の帯青白色あるいは銀灰色の固体
沸点:°C	1740°C
蒸気圧:Pa(20°C)	235Pa(1000°C)
揮発性	情報が入手できません。
融点:°C	327.4 °C
比重または嵩比重	約 7.3
溶解度	冷水にわずかに溶ける。
その他	-----

10. 安定性及び反応性

引火点:°C	該当しない
発火点:°C	情報が入手できません。
爆発限界:上限% 下限%	該当しない
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・水との反応性)	情報が入手できません。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
安定性・反応性	通常の実験においては安定である。
危険有害反応可能性	強酸、強酸化剤、イオウと反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	粉じんの堆積、拡散。
混触危険物質	強酸、強酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼の際は、有害なヒュームやガスを放出することがある。

11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口: ラット LD ₅₀ 4200mg/kg(区分5とした)
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
催奇毒性	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	「インジウム及びその化合物は、骨格、消化管系への影響および特に肺への吸入によりTLV-TWA がせっていされていること」、「ヒトで2例のインジウムすず酸化物は高いインジウム含量(インジウム 74%、すず 8%)をゆうするので、観察された肺毒性の主な原因はおそらくインジウムによるもの」の記載がある。区分1(肺、骨格、消化管)とした。 長期または反復曝露による肺、骨格、消化管の障害(区分1)
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	情報が入手できません。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）(政令番号 第58号)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第2類可燃性固体、金属粉(法第2条第7項危険物別表第一)
船舶安全法	可燃性物質類・可燃性物質(危険則第2,3条危険物告示別表第一)
航空法	可燃性物質類・可燃性物質(施行規則第194条危険物告示別表第一)
PRTR法	第一種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条表第1)(政令番号第44号)

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ACGIH発行TLV_s[®] and BEI_s[®]2005 ・厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx ・安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0: 新規制定

* 危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません